

## [資 料]

### 運動会の集団演技に関する基礎調査

—幼稚園の指導者を対象とした集団演技の構成及び指導に関する事例研究—

荒木達雄\*・金子嘉徳\*\*

(平成 2 年 5 月 10 日受理, 平成 2 年 7 月 17 日受付)

### An Introductory Study Into the Group Gymnastic Performance of Kindergarten Sports Festival

—Case Studies of Instruction Methods Performance Content—

Tatsuo ARAKI and Yoshinori KANEKO

#### I. はじめに

運動会は競技種目と演技種目から構成され、演技種目は、学校の運動会では個人よりも集団で行われることから「集団演技」「マスゲーム」と呼ばれたり、幼稚園・保育所では「遊戯」という名称で行われて来た。

集団演技が何処の運動領域で扱われて来たかについて歴史的にみると、「マスゲームは学校体育の中でも社会の体育行事としても昔から行われていながら、(中略)文部省令として度々出された戦前の体操教授要目でも戦後の学習指導要領でも一度もとりあげられたことはない」<sup>1)</sup>。

集団演技の教育的意義について、浜田は「マスゲームには、勝敗も、記録もないし、一人だけの花形や、抜け駆けの巧妙などというものはありえない。いうなれば、皆が主役なのである。(後略)」<sup>2)</sup>、北浦は「マスゲームは人間の集団のもつ行動の美しさや健康美を感じとるものであって、個人の優劣を競う場ではない。従って運動能力の劣る子どもや気の弱い恥ずかしがりやの子どもも安心して参加できるなどの教育的価値も述べており、他に無の状態から一つの作品が協力により生まれ、観衆の前で表現することが可能になり、集団単位での達成感を経験することができると考えられる。

このような教育的有意義な価値を持つ反面、一つのまとまりのある演技を集団でしかも観衆の前で表現がで

るようになるまでにはかなりの練習を要するので、発育発達にあった入念な計画や演技者と指導者との間に意志の疎通がなされない場合には、問題が起こって来るものと考えられる。

また、集団演技は観衆の前で行うので、現場の指導者が唯一評価される場でもある。すなわち「その出来、不出来が体育の先生の指導能力や熱意の評価につながりがちで、おろそかにはできぬ代物である」ことから集団演技の指導方法について研究する必要がある。

浜田が「集団演技を科学的に検討したり、体系づけて研究した人はいないし、本もない」と述べているように集団演技またはマスゲームに関する研究はなく、浜田が体育学会で発表した以外は、「体育の科学」第 18 巻 第 10 号 (1968, 10) に特集として「マス・ゲーム」を取り上げられたのみである。

集団演技は運動会の中で実施されていることから、運動会についての研究から、集団演技に関する先行研究を調べたが、演技構成、練習、指導様子については僅かであり、集団演技の問題点を指摘した報告が殆どであった<sup>3)4)</sup>。

集団演技は学習指導要領の中では、一つの領域として扱われていないが、運動会の全練習の割合からみて高いことや、今なお運動会の中心的存在である。また、指導者としての指導能力がある面では問われがちな種目で

\* 日本体育大学

\*\* 女子栄養大学

もある。

以上のことから運動会の一種目として研究が行われるのではなく、一つの領域として各方面からのアプローチがなされる必要があると思われる。

集団演技を一つの研究領域に高めるためには、先ず集団演技が行われている教育または保育の場である幼稚園・保育所から大学までの現状、すなわち演技構成や指導の実態を知ることが第一歩であると考えられる。

II. 目 的

今回の調査では、幼稚園の指導者を対象に運動会の集団演技の作成過程や指導の現状把握を目的とした。

III. 方 法

1. 調査の対象者及び方法

埼玉県坂戸市、川越市及び県外の幼稚園の教諭 200 名 (回収率 40%) を対象に留置法と郵送法の併用により質問紙調査を行った。調査期間は平成元年 11 月から平成 2 年 1 月。対象者の公立私立別・指導年数・担当学年・担当園児数は表 1 の

通りである。

2. 調 査 項 目

- 1 運動会実施日
- 2 演技構成の構想始め
- 3 講習会への参加
- 4 音楽
- 5 演技構成 (振付け)
- 6 隊形
- 7 装飾
- 8 練習
- 9 演技時の教師の位置
- 10 今年度の難しい点
- 11 翌年度への課題

IV. 結果及び考察

1. 運動会実施日

図 1 に運動会の実施日を示した。「9 月 10 日まで」0.5%、「9 月 10 日~20 日」2.5%、「9 月 21 日~30 日」13.0%、「10 月 1 日~10 日」66.0%、「11 日以降」16.0% であった。運動会の実施日は 10 月 1 日から 10 日までの間に集中していた。この時期に集中するのは「体育の日」が選定されたように気候が安定し、最も運動会に適した時期であるからであろう。

2. 演技作成の構想始め

図 2 は演技構成の構想はじめについてであり、「新年

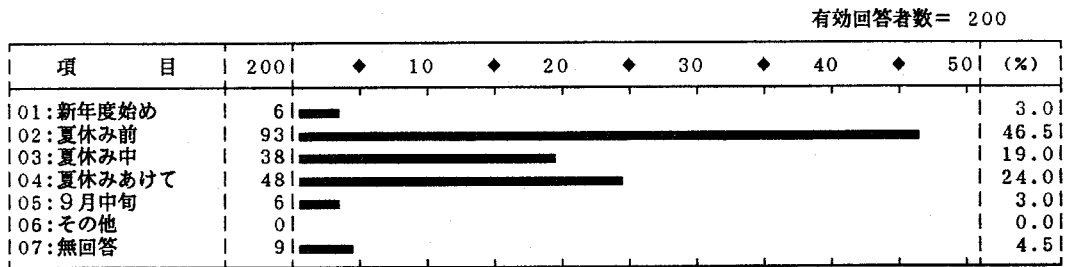
表 1 対象者の指導年数・担当学年・担当園児数

項目名	公立・私立別	指導年数						担当学年					担当園児数					
		1年以下	2年	3年	4年	5年	6年以上	無回答	年長	年中	年少	その他	無回答	25人以下	26-30	31-35	36-40	41人以上
公立	32	4	5	3	4	15	1	10	4	10	8	0	16	11	3	0	1	1
私立	168	21	54	43	25	20	5	53	57	40	17	1	44	50	26	26	15	7
計	200	25	59	46	29	35	6	63	61	50	25	1	60	61	29	26	16	8
合計	200	200						200					200					

項 目	200	◆ 14	◆ 28	◆ 42	◆ 56	◆ 70	(%)
01:9月10日まで	1						0.5
02:11から20	5						2.5
03:21から30	26						13.0
04:10月1日-10日	132						66.0
05:11日以降	32						16.0
06:無回答	4						2.0

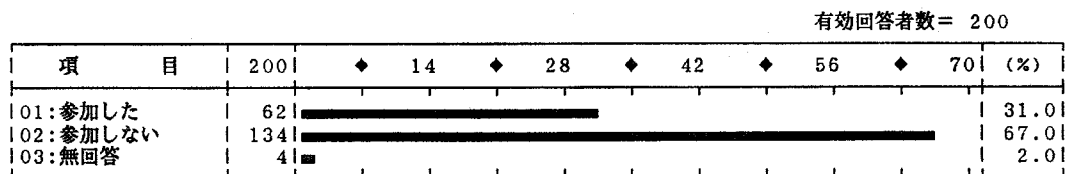
N=200 (S.A)

図 1 運動会実施日



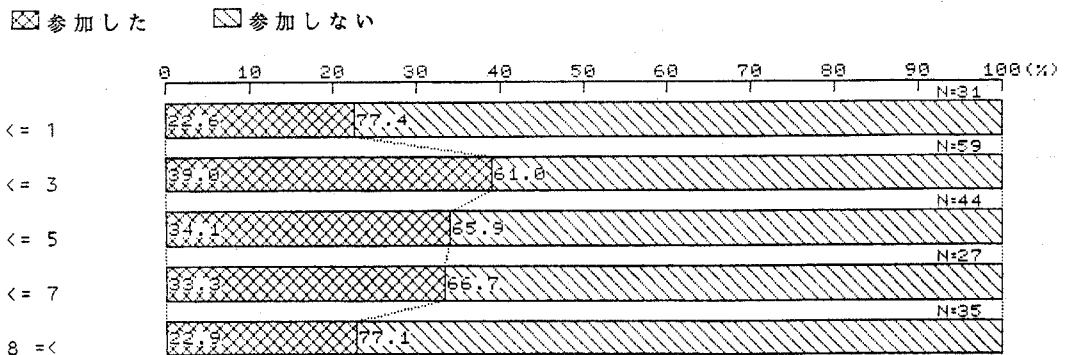
N=200 (S.A)

図2 演技構成の構情始め



N=200 (S.A)

図3 講習会への参加の有無



df=4  
x<sup>2</sup>=4.05

図4 「指導年数」と「講習会への参加の有無」

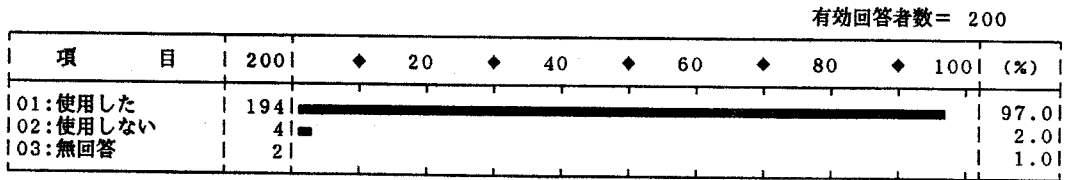
度始め」3.0%、「夏休み前」46.5%、「夏休み中」19.0%、「夏休みが明けて」24.0%、「9月中旬」3.0%であった。「新年度始め」に3.0%がみられたのは、指導者自身の前年度の課題か或は指導者の園が集団演技を重要視しているものと考えられる。演技構成は、夏休み前最後の行事、七夕祭りあたりから夏休みの間に考え始めるものと考えられる。

この期間が、運動会実施日から逆算して練習等を考慮に入れると最も構想するには適した時期なのであろう。

### 3. 講習会への参加の有無

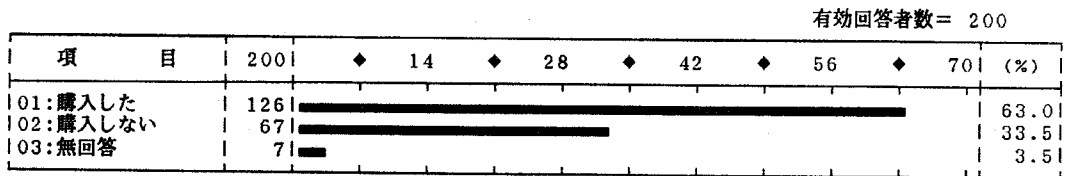
毎年、運動会の数カ月前には、新しい遊戯用の曲を使った講習会が全国各地で行われている。指導者が何か新しい集団演技の内容を求めていることの現れでもある。図3はそうした講習会への参加の有無に関してである。集団演技の講習会へ「参加した」31.0%で、「参加していない」が67.0%であった。

図4、参加者と指導年数をクロス集計してみると指導年数「3年~4年」が最も多く参加しており、その年代を頂点とした対称的な山型の曲線を描いている。そうし



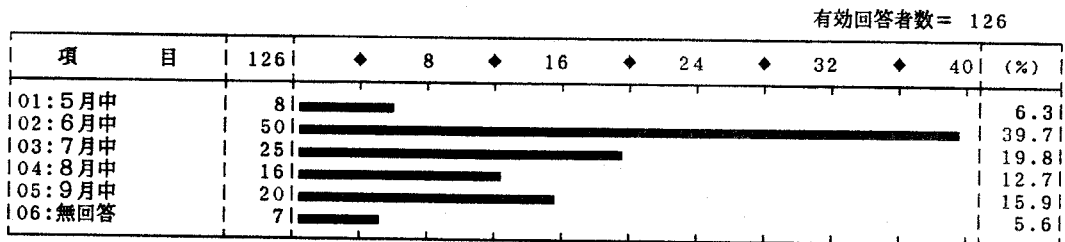
N=200 (S.A)

図5 音楽の使用の有無



N=200 (S.A)

図6 レコード・CDの購入の有無



N=126 (S.A)

図7 レコード・CDの購入時期

た曲線が見られるのは、指導年数1年以下は、準備等で忙しく講習会に参加する時間的余裕のないことが理由の一つとして考えられる。また、指導年数が増すにつれて、講習会へ参加する割合が減って行くのは、講習会の内容に新鮮さを感じなくなったり、或は参加する時間を持つことが出来なくなったためであろう。

#### 4. 音楽

図5、集団演技時の音楽の使用に関しては、「使用した」97.0%、「使用しない」2.0%であった。殆どの指導者が音楽を使用していたことから、幼稚園での集団演技には音楽が必要なものであると考える。

図6、「使用した」と回答した指導者の中で、平成元年度の集団演技のために新たにレコードまたはCDを「購入した」と回答した者は63.0%で、「購入しない」か33.5%であった。図6の設問で音楽を「使用した」に回答した者を対象にレコード・CDの選曲決定までの

試聴曲数(図9)を尋ねたところ、「6曲以上」が62.3%いたことから、「購入した」と試聴曲数「6曲以上」を考慮に入れると、購入前に試聴することが出来ない場合、相当数のレコード・CDを購入するが、その大半は使用されないものと考えられる。

図6の「購入しない」と回答した者は、過去の運動会で使用した曲や未使用の曲、園児や指導者による合唱・器楽演奏などを録音した曲を使用していたものと考えられる。

図7は「購入した」と回答した指導者のレコード・CDの購入時期であり、「5月中」6.3%、「6月中」39.7%、「7月中」19.8%、「8月中」12.7%、「9月中」15.9%であった。

演技作成の構想始めの曲線(図2)と似ているがレコード・CDの購入時期の曲線(図7)の方が時間的にやや早い方にかたよっていることや、図8「既成曲をその



有効回答者数 = 194

項 目	194	◆ 14	◆ 28	◆ 42	◆ 56	◆ 70	(%)	
01: 使用した	123							63.4
02: 使用していない	70							36.1
03: 無回答	1							0.5

N=194 (S.A)

図 12 運動会終了後の曲の使用有無

有効回答者数 = 200

項 目	200	◆ 12	◆ 24	◆ 36	◆ 48	◆ 60	(%)	
01: 既成作品変更	107							53.5
02: 指導者自身	74							37.0
03: その他	8							4.0
04: 無回答	6							3.0
05: そのまま使用	5							2.5

N=200 (S.A)

図 13 集団演技構成者

有効回答者数 = 200

項 目	200	◆ 16	◆ 32	◆ 48	◆ 64	◆ 80	(%)	
01: 行った	158							79.0
02: 行わなかった	38							19.0
03: 無回答	4							2.0

N=200 (S.A)

図 14 他のクラスとの共演の有無

まま使用した」82.5%，更に図 11 の「運動会遊戯用曲」55.5%，「最新の運動会遊戯用曲」33.0% と回答していたことから、指導者はレコード・CD を選曲する前にあるイメージを描いているのかも知れないが、音楽を最初に選曲して、次に本格的に演技構成を考えていたのではないと思われる。

図 8、音楽を「使用した」と回答した者の内で、音楽をどのような形で使用したかに関しては、「既製曲のまま」82.5%，「複数の既製曲をつないだ」13.4%，「オリジナル」2.6% であった。「オリジナル」の内容は、幼稚園児による器楽演奏をした曲を録音したものであった。

また集団演技用の曲を決定するまでの試聴曲数は（図 9）、「1 曲」4.6%，「2 曲～3 曲」16.5%，「4 曲～5 曲」11.3%，「6 曲以上」62.3% であった。

図 10、指導年数と試聴曲数をクロス集計をしたところ、指導年数によって、試聴曲数が異なることがなかったため、指導年数に関係なく半数以上の指導者は、相当

数の曲を試聴し、曲を決めているものと考えられる。

図 11、集団演技に使用した曲をジャンル別に分け、使用頻度の高い順に見ると「運動会遊戯用曲」55.5%，「最新の運動会遊戯用曲」33.0%，「TV アニメの主題歌」13.6%，「流行曲」12.6%，「童謡」8.9%，「クラシック」4.2% であった。最新ではなくその年以前に発売された「運動会遊戯用曲」が最も使用頻度が高かったのは、慣れ親しんだ曲であるためと考えられる。

「最新の運動会遊戯用曲」の中には、使用頻度の高い順から 3 番目の「TV アニメの主題歌」を編曲した曲も含まれているものと考えられることから、「TV アニメの主題歌」は、今後も使用頻度の高い順から 2 番ないし 3 番目になるであろう。

図 12、「使用した」と回答した者の中で運動会終了後その音楽を再び使用したかに関しては、「使用した」63.4%，「使用しなかった」36.1% であった。半数以上が運動会終了後集団演技の使用曲を再使用していた。

有効回答者数 = 200

項目	200	◆ 10	◆ 20	◆ 30	◆ 40	◆ 50	(%)
01:円になって	93	[Horizontal bar representing 93]					46.5
02:円と列	63	[Horizontal bar representing 63]					31.5
03:列になって	32	[Horizontal bar representing 32]					16.0
04:自由	7	[Horizontal bar representing 7]					3.5
05:無回答	5	[Horizontal bar representing 5]					2.5

N=200 (S.A)

図 15 主な隊形

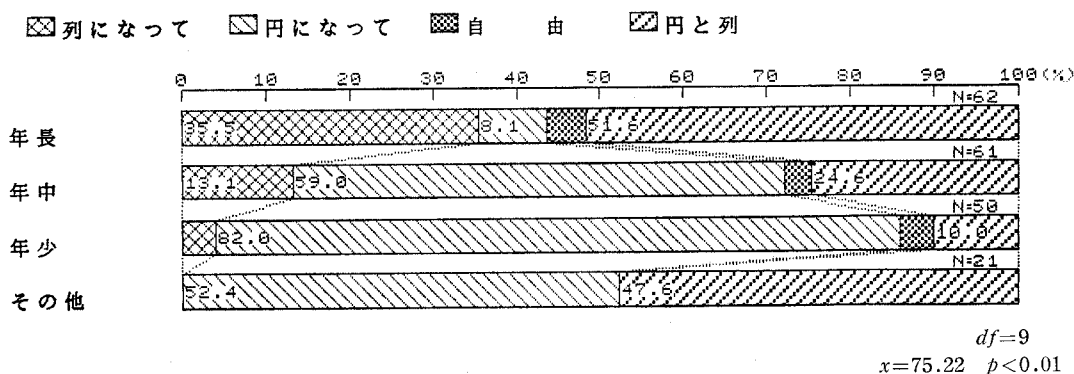


図 16 「担当学年」と「主な隊形」

有効回答者数 = 200

項目	200	◆ 14	◆ 28	◆ 42	◆ 56	◆ 70	(%)
01:変化した	137	[Horizontal bar representing 137]					68.5
02:変化しない	58	[Horizontal bar representing 58]					29.0
03:無回答	5	[Horizontal bar representing 5]					2.5

N=200 (S.A)

図 17 隊形変化の有無

### 5. 演技構成 (振付け)

図 13, 演技構成者に関しては, 「既成作品を一部変更し使用した」53.5%, 「指導者自身が全て構成を考えた」37.0%, 「その他」4.0%, 「既成作品をのそまま使用した」2.5% の順であった。

半数の指導者が既成作品の構成を一部変更し実施していたのは, そのままでは使いにくいと考える。

図 14, その集団演技はクラス単独で行われたのか, あるいは他のクラスと共演したかに関しては, 「共演して行った」79.0%, 「共演して行わなかった」で19.0% あったことから, 他のクラスの指導者と一緒に, 演技構成及び練習が行われたものと考えられる。

### 6. 隊形

集団で演技を行う場合は隊形を考える必要がある。図 15, 演技を行うにあたっての主な隊形に関しては, 「円になって」46.5%, 「円と列」31.5%, 「列になって」16.0%, 「自由」3.5% であった。主な隊形と保育年数とをクロス集計したところ (図 16), 「円になって」の隊形の割合の変移を例にあげると年少 (82.0%), 年中 (59.0%), 年長 (8.1%) で年少が最も多かった ( $P<0.01$ )。

図 17, 隊形の変化に関しては, 隊形が「変化した」68.5%, 「変化しなかった」29.0% であったが, 図 18, 保育年数とクロス集計したところ, 年少「変化した」34.7%, 「変化しなかった」65.3%, 年中「変化した」

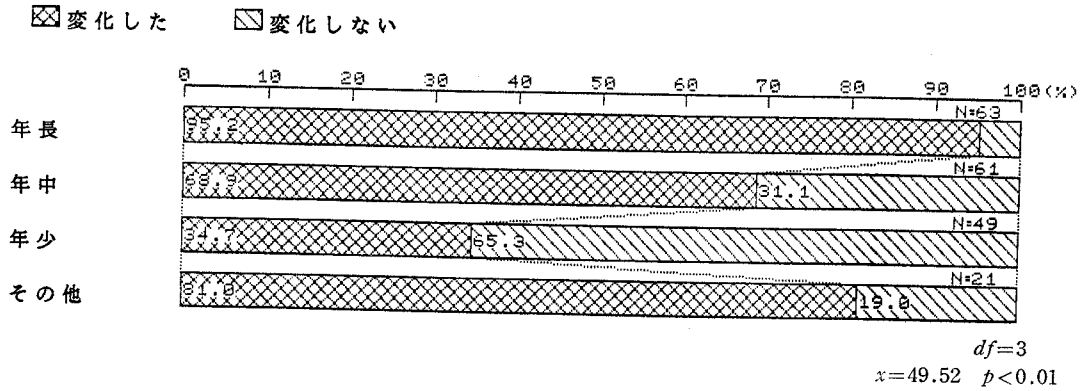


図 18 「担当学年」と「隊形の変化の有無」

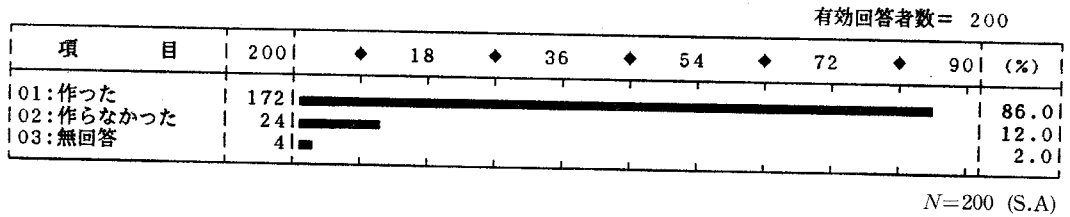


図 19 装飾の作製

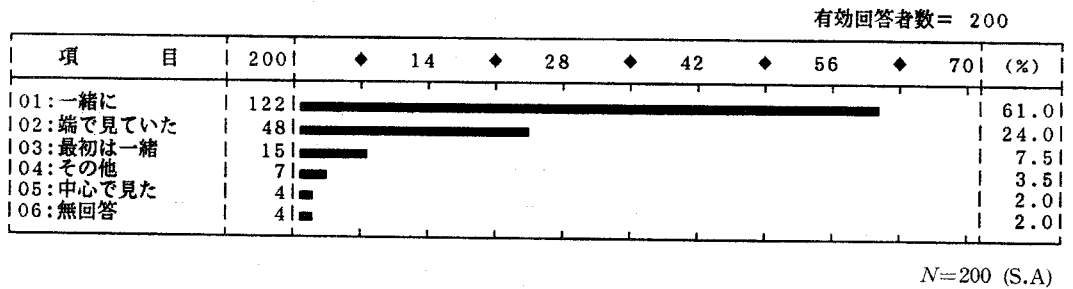


図 20 集団演技時の指導者の位置

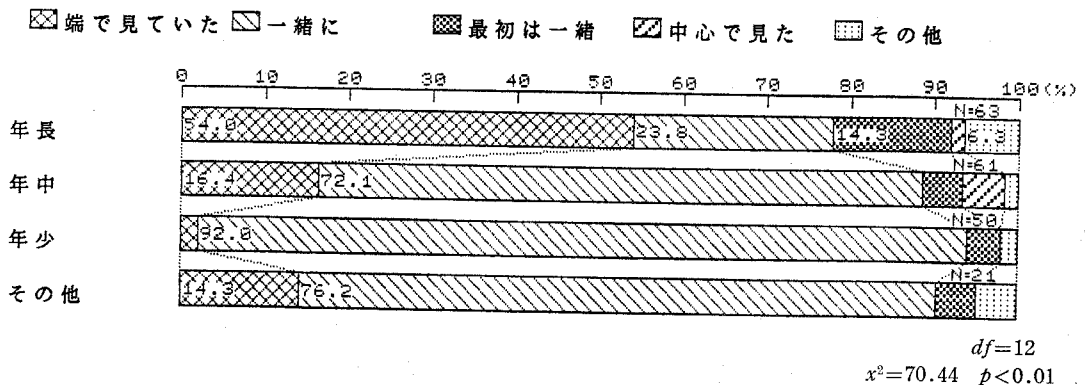


図 21 「担当学年」と「指導者の位置」



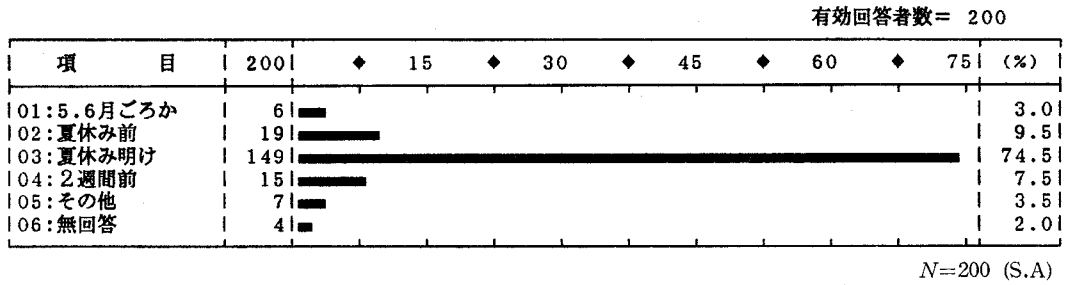


図 22 練習開始時期

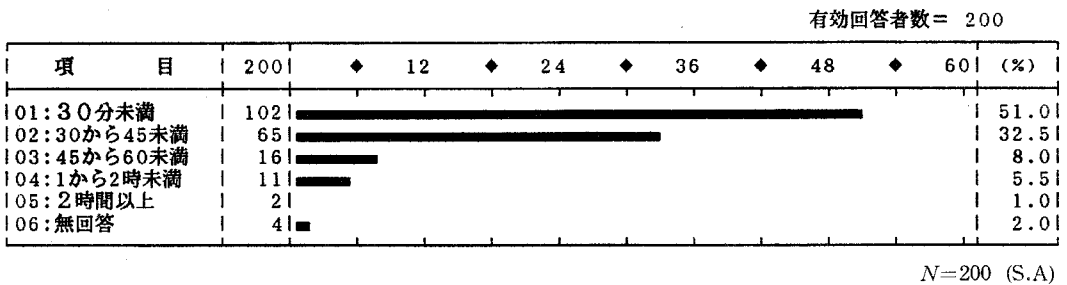


図 23 一週間前の平均練習時間

☒ 30分未満    ☑ 30から45未満    ☎ 45から60未満    ☏ 1から2時未満    ☐ 2時間以上

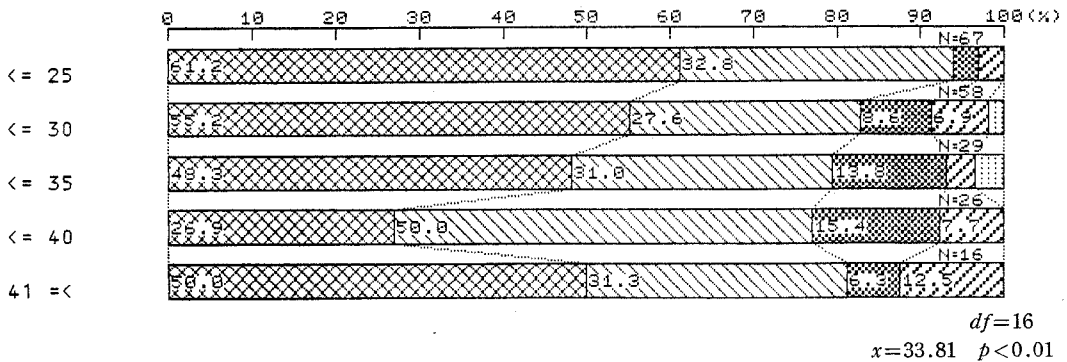


図 24 「指導年数」と「一週間前の平均練習時間」

68.9%、「変化しなかった」31.1%、年長「変化した」95.2%、「変化しなかった」4.8%であり、ともに隊形の「変化した」割合が高くなっている (P<0.01)。

以上のことから、年少の集団演技は円の隊形で行われて、隊形の変化しない傾向にあると思われる。

### 7. 装飾の作製

図 19, 装飾の作製に関しては、「作った」86.0%、「作らなかった」12.0%であった。装飾の内容に関しては不明ではあるが、大多数の指導者は持ったり身につけ

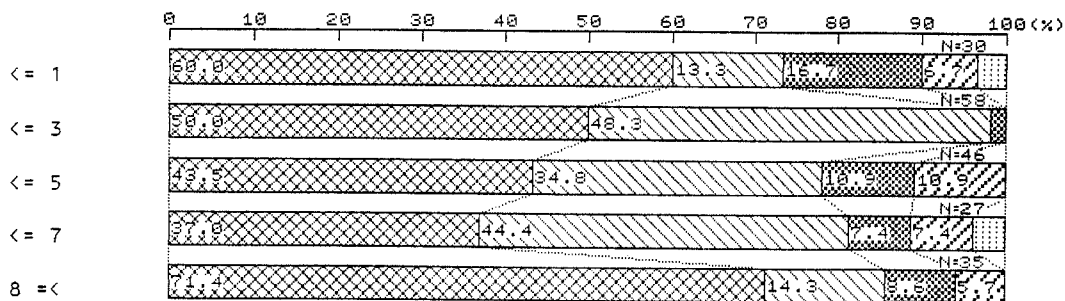
たりずを装飾を作製して、演技を行っているのである。「作らなかった」と回答した指導者は、今回の調査では明らかにはならないが、「前年に使用した」或は「毎年使用している」装飾を使用していたのではないかと考えられる。

指導者が担当園児一人一人の装飾を作製した場合は、相当時間を要したものと推察される。

### 8. 集団演技時の指導者の位置

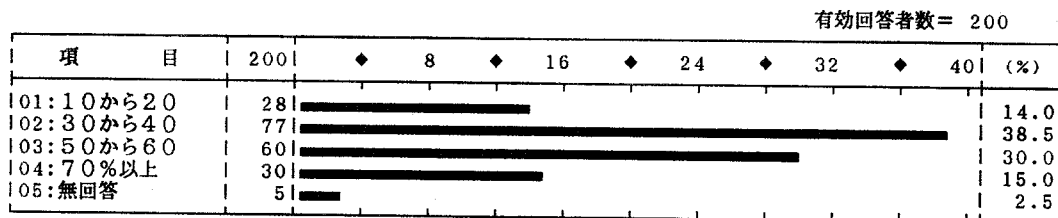
図 20, 演技時の指導者の位置に関しては、頻度の高

☒ 30分未満 ☒ 30から45分未満 ☒ 45から60分未満 ☒ 1から2時間未満 ☒ 2時間以上



df=16  
x=18.19

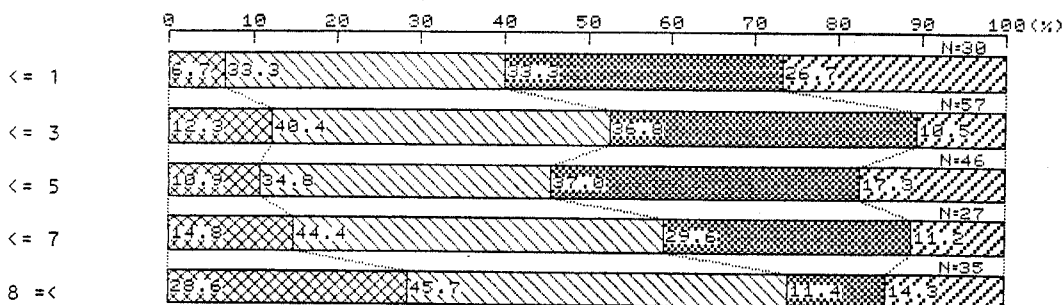
図 25 「担当園児数」と「一週間前の平均練習時間」



N=200 (S.A)

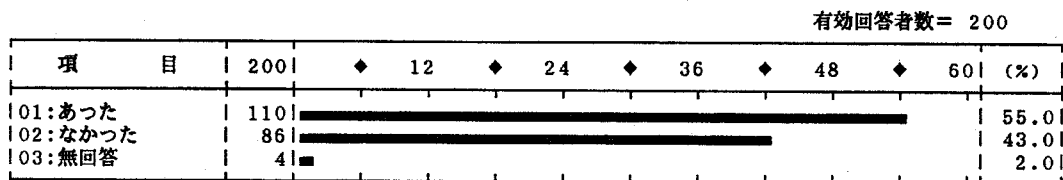
図 26 練習の割合

☒ 10から20 ☒ 30から40 ☒ 50から60 ☒ 70%以上



df=12  
x=17.20

図 27 「指導年数」と「練習の割合」



N=200 (S.A)

図 28 今年度の難問しかった点の有無

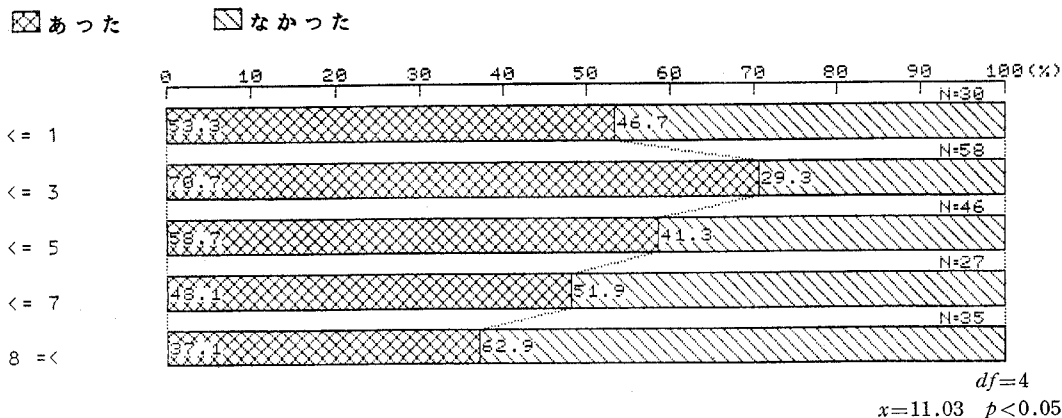
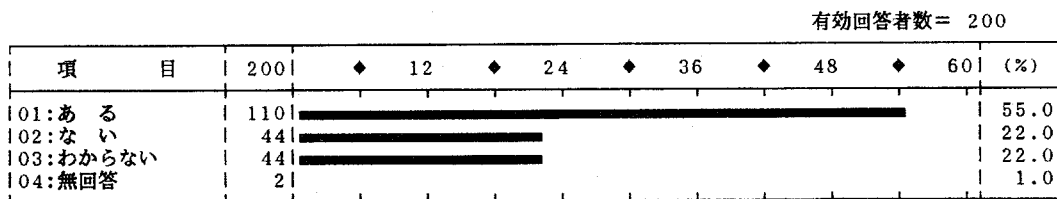


図 29 「指導年数」と「今年度の難問しかった点の有無」



N=110 (M.A)

図 30 具体的内容



N=200 (S.A)

図 31 翌年度へ向けての集団演技の力点の有無

い順から「園児と一緒にいていた」61.0%、「園児が演技している端で見ていた」24.0%、「最初は園児と一緒に演技をしていたが、途中は見ていた」7.5%、「その他」3.5%、「中心で見ていた」3.5%であった。図 21, 保育年数とクロス集計をして見ると、保育年数が高くなるにつれて指導者の「園児と一緒にいていた」割合が年少 92.0%、年中 72.1%、年長 23.8% と低くなっていることがわかる (P>0.01)。

9. 練習

図 22, 練習開始時期に関しては、「5・6月から」

3.0%、「夏休み前から」9.5%、「夏休み明けから」74.5%、「運動会の2週間前から」7.5%、「その他」3.5%であった。「その他」の内容は記入がなかったために全て不明である。

大部分の指導者は夏休み明けから集団演技の練習を開始したものと考えられる。

図 23, 運動会一週間前の集団演技の平均練習時間に関しては、「30分未満」51.0%、「30分~45分未満」32.5%、「45分~60分未満」8.0%、「1時間~2時間未満」5.5%、「2時間以上」1.0%であった。一週間前の

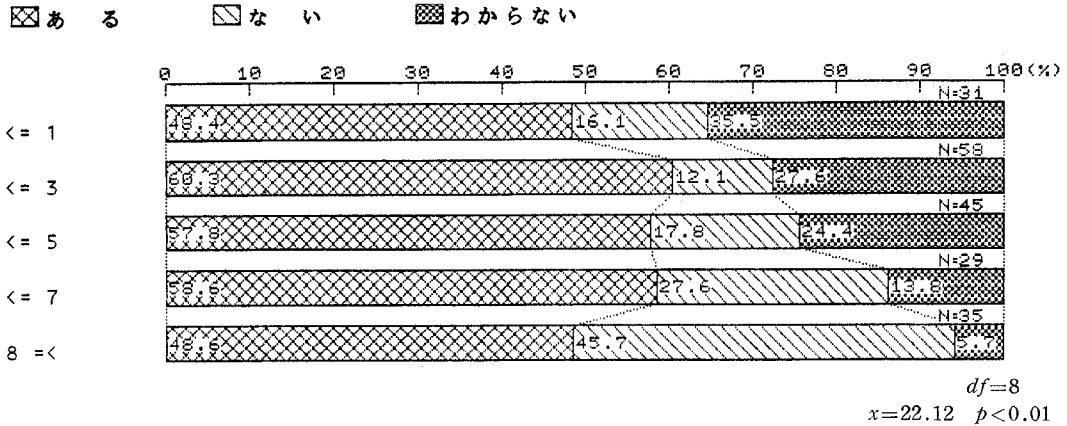
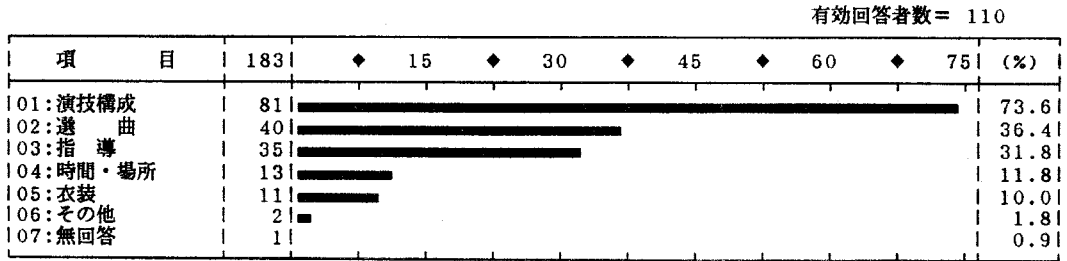
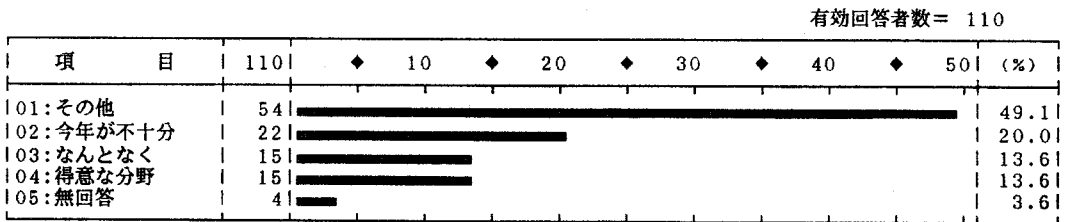


図 32 「指導年数」と「翌年度へ向けての集団演技の力点の有無」



N=110 (M.A)

図 33 あると回答した具体的内容



N=110 (S.A)

図 34 あると回答した具体的理由

集団演技の平均練習時間は 30 分から 45 分までが大部分の割合を占めていた。また僅かではあるが「2 時間以上」の練習をしている園も見られ、発育発達段階から考えて無理があるのではないと思われる。図 24、「指導年数」とクロス集計したところ、練習時間は指導年数に反比例する傾向がみられた (P<0.01)。また図 25、「担当園児数」ともクロス集計したところ、園児数が増えると練習時間も増える傾向がみられた。

図 26、運動会全練習からみた集団演技練習時間の割合に関しては、全練習の「10%~20%」14.0%、「30%~

40%」38.5%、「50%~60%」30%、「70% 以上」15.0%であった。

図 27「指導年数」とクロス集計をしたところ、図 24と同じ様な反比例する傾向がみられたが、運動会の練習の中で集団演技の練習に費やす時間の割合は、他の種目より多いように思われる。

10. 今年度の難しかった点の有無

図 28、今年度の難しかった点の有無に関しては、難しい点が「あった」55.0%、「なかった」43.0%であった。また、図 29「指導年数」とクロス集計して見ると

図 24, 図 27 と同様な傾向がみられた ( $P < 0.05$ )。「あった」と回答した指導者の具体的内容 (図 30) は、頻度の高い順から、「演技構成」60.0%、「演技指導」35.5%、「時間・場所の確保」22.7%、「選曲」12.7%、「その他」10.0%、「衣装」5.0% であった。「その他」の内容に関しては、全てに記入がなかったために不明である。

#### 11. 翌年度の力点の有無

図 31, 翌年度の力点の有無に関しては、「ある」55.0%、「ない」22.0%、「わからない」22.0% であった。また図 32 「指導年数」とクロス集計をして見ると、指導年数が増すにしたがって、翌年度への力点は少なくなる傾向にある ( $P < 0.01$ )。

「ある」と回答した者の具体的内容 (図 33) は複数回答であるが、頻度の高い順から、「演技構成」、「選曲」、「演技指導」、「時間・場所の確保」、「衣装」、「その他」であった。翌年度の力点が「ある」と回答した者の具体的理由 (図 34) は、頻度の高い順から「その他」49.1%、「今年が不十分だったから」20.0%、「なんとなく」13.6%、「得意な分野」13.6% であった。「その他」に記載された内容は、「子供にあった指導をしたい」や「子供にのびのびした指導をしたい」からと書かれたものが殆どであった。

#### IV. まとめ

今回の調査で、次のことが明らかになった。①運動会の実施日は、「10月1日～10日」の間に集中していた。②演技構成は、夏休み前最後の行事、七夕祭りあたりから夏休みの間に考え始めるものと考えられる。③集団演技の講習会へは3割が参加し、指導年数「3年～4年」が最も多く参加していた。④集団演技時の音楽に関しては、殆どの指導者が音楽を使用し、新たに6割が購入していた。また使用頻度の最も高いジャンルは「運動会遊戯用曲」。曲を決定するまでの試聴曲数「6曲以上」が6割いた。運動会終了後も6割以上が曲を使用していた。⑤演技に関しては、「既成作品を一部変更し使用した」が半数を越えていた。⑥隊形に関しては、年少の集団演技は円の隊形で行われて、隊形の変化しない傾向にある。年長では殆どの集団演技は隊形が変化していた。⑦装飾の作製に関しては、殆どの指導者は持ったり身につけたりする装飾を作製していた。⑧演技時の指導者の位置に

関しては、年少では殆どまた年中では大部分が、指導者が園児と一緒に集団演技を行っていた。⑨大部分の指導者は夏休み明けてから集団演技の練習を開始し、一週間前の集団演技の平均練習時間は30分から45分までが大部分の割合を占めていた。運動会全練習における集団演技練習時間の割合は、「30%～60%」であった。⑩今年度の難しかった点の有無に関しては、半数が難しい点が「あった」と回答し、その具体的内容で頻度が最も高いのは「演技構成」であった。⑪翌年度の力点の有無に関しては、半数が「ある」と回答し、具体的内容は、頻度の高い順から、「演技構成」、「選曲」、「演技指導」、「時間・場所の確保」、「衣装」、「その他」であった。

集団演技の演技する時間と構想はじめから演技をマスターさせるまでの時間とを比べると、当然後者の方がはるかに時間を要する。従って様々な問題が生じやすいので、無理のない指導が計画的に行われる必要がある。

#### 文 献

- 1) 浜田精一：学校体育とマス・ゲーム，体育の科学，13(10)，596-599，(1968)。
- 2) 浜田精一：図説 学校マス・ゲーム基本編，新思潮社，(1981)。
- 3) 西頭三雄児，藤善瑞子：保育叢書 16 健康，第 8 章，「健康」に関連した行事の指導，133-135，(1983)。
- 4) 服部伸一：幼児の運動会に関する研究，日本幼児健康教育学会第 6 回大会，(1988)。
- 5) 近藤充夫：幼稚園教育における体育的行事を考える，初等教育，文部省，(1986)。
- 6) 沢田和明：教科体育における集団行動の学習に関する基礎的研究，滋賀大学教育学部教育研究所紀要第 21 号，(1988)。
- 7) 猪飼道夫，江橋慎四郎，飯塚鉄雄，高石昌弘：体育学事典，第 9 章，学校体育，第一法規，486-487，(1972)。
- 8) 辰見敏夫，友松諱道：幼児教育概論，同文書院，(1981)。
- 9) 山下俊郎：保育学事典，光生館，第 23 章，行事，198-204，(1977)。
- 10) 近藤充夫：健康，第 2 章，幼児の心身の発達と健康の指導，同文書院，15-31，(1981)。
- 11) 大西誠一郎，佐々木吉蔵：幼児の体育，建帛社，(1979)。
- 12) 原田碩三：保育の中の体力づくり 12 か月，中央法規出版，(1982)。

--	--

＜運動会の遊戯・集団演技の指導に関する基礎調査＞

調査のお願い

拝啓 寒さも厳しくなつてまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、この度運動会の遊戯・集団演技の指導に関して、先生方のご指導の様子をお聞かせいただきたく、この調査を行うことになりました。御多忙の中誠に申し訳ありませんが、何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。尚、調査票の記入の仕方は、大部分、あてはまる番号を○で囲むかたちになっています。

1. 区・町・市	01. 公	02. 私
2. 性別	01. 男	02. 女
3. 保育年数	( ) 年	
4. 担当学年	01. 年長	
	02. 年中	
	03. 年少	
	04. その他	
5. 担当園児数	( ) 人	
6. 運動会実施日	平成元年	月 日

問1 今年の秋の運動会の遊戯・集団演技の内容について、いつ頃から演技構成の構想を考え始めましたか。

- 01. 新年度に入ってから
- 02. 夏休み前
- 03. 夏休み中
- 04. 夏休み明けて
- 05. 9月の中旬
- 06. その他( 月 日頃から)

問2 運動会の遊戯・集団演技に関した講習会に参加しましたか。

- 01. 参加した
- 02. 参加しなかった

問3 運動会の遊戯・集団演技に音楽を使用しましたか。

- 01. 使用した
- 02. 使用しなかった

(問4から問9までは問3で「01.使用した」と答えた方のみにお尋ねします)

問4 運動会の遊戯・集団演技のためにレコード・CD等を購入しましたか。

- 01. 購入した
- 02. 購入しなかった

問5 レコード・CD等をいつ頃購入しましたか。

平成元年 ( ) 月 ( ) 日 ごろ

問6 使用した曲についてお尋ねします。(入選の曲は含みません)

- 01. レコード・CD (既製曲)
- 02. 複数の既製曲をつないだ曲
- 03. 先生または園児が演奏したオリジナル曲
- 04. その他

(問7は問6の質問に対して「01.レコード・CD (既製曲)」または「02.複数の既製曲をつないだ曲」と答えた方のみにお尋ねします)

問7 曲を選択するにあたって、レコード・CDを約何曲聞きましたか。

- 01. 1 曲
- 02. 2～3 曲
- 03. 4～5 曲
- 04. 6 曲以上

問 8 どの様なジャンルの曲を使用しましたか。番号を選んで○をつけて下さい。  
(14) (複数回答可)

- 01. 最新の運動会の遊戯用の曲
- 02. 運動会の遊戯用の曲
- 03. 童謡
- 04. 日本民謡
- 05. 流行曲
- 06. クラシック
- 07. TVアニメ主題曲

問 9 今回使用した曲を運動会終了後使用しましたか。  
(15)

- 01. 使用した
- 02. 使用しない

問 10 運動会の遊戯・集団演技の振付けは、どのようにして振付けましたか。  
(16)

- 01. 本またはレコード等に載っていた振付けをそのまま使用した
- 02. 出来上がった振付けを子供の能力に応じて一部変えた
- 03. 指導者自身が全て振付けた
- 04. その他 ( )

問 11 運動会の遊戯・集団演技は他のクラスと共演しましたか。  
(17)

- 01. 一緒に行った
- 02. 一緒に行わなかった

問 12 運動会の遊戯・集団演技は主にどの様な隊型で行いましたか。  
(18)

- 01. 列になって
- 02. 円になって
- 03. 自由
- 04. 円と列

問 13 運動会の遊戯・集団演技の隊型は変化しましたか。  
(19)

(判断の目安 例：列から円へ、但し同じ隊型の拡大・縮小は含みません)

- 01. 変化した
- 02. 変化しない

問 14 遊戯・集団演技用の何か特別な飾り類(頭・手に付けるもの、着るもの)を作りましたか。  
(20)

- 01. 作った
- 02. 作らなかった

問 15 いつ頃から運動会の遊戯・集団演技の練習を始めましたか  
(21)

- 01. 5、6月頃から
- 02. 夏休み前から
- 03. 夏休み明けから
- 04. 運動会2週間前
- 05. その他 ( )

問 16 運動会一週間前、遊戯・集団演技の練習は二日平均どれくらい行いましたか。  
(22)

- 01. 30分未満
- 02. 30分以上～45分未満
- 03. 45分以上～60分未満
- 04. 1時間以上～2時間未満
- 05. 2時間以上

問 17 遊戯の練習の割合は運動会の練習の約何%だったと思われませんか。  
(23)

- 01. 10～20%
- 02. 30～40%
- 03. 50～60%
- 04. 70%以上

問 18 運動会の遊戯・集団演技のとき、先生は何処にいらして見えましたか。  
(24)

- 01. 端で見ていた
- 02. 園児と一緒に遊戯をしていた
- 03. 最初は一緒に遊戯をしていたが、のち端で見ていた
- 04. (円の)中心で見えていた
- 05. その他 ( )

問 19 今年の遊戯・集団演技で難しい点がありましたか。  
(25)

- 01. あった
- 02. なかった

↓  
具体的にはどんな点ですか。2つまで○をつけて下さい。

- 01. 遠慮
  - 02. 構成(=振り付け)
  - 03. 衣装
  - 04. 指導
  - 05. 練習時間・場所の確保
  - 06. その他 ( )
- 問 20 来年度、運動会の遊戯・集団演技を行う際、具体的に何か力を入れたいところがありますか。  
(27)

- 01. ある
- 02. ない
- 03. わからない

↓  
具体的にはどんな点ですか。2つまで○をつけて下さい。

- 01. 遠慮
- 02. 構成(=振り付け)
- 03. 衣装
- 04. 指導
- 05. 練習時間・場所の確保
- 06. その他 ( )

その理由は以下のどれにあたりますか。

- 01. 今年不十分だったと感じた
- 02. 得意な分野である
- 03. なんとなく
- 04. その他 ( )